



平成 25 年産

福井米

コシヒカリ

ハナエチゼン

あきさかり



コシヒカリのふるさとを誇りに
安全でおいしいお米を福井から全国へ。



【福井米の定義】

◎品種が確認できた種子により栽培した米穀

◎登録検査機関で受検された米穀

◎生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳が確認された米穀

◎1.9mm以上の大網で選別された米穀

おいしさの証
平成24年産福井県産
コシヒカリとハナエチゼンが
日本穀物検定協会実施の
食味ランク^{*}で、最高ランクの
「特A」と評価されました。

福井米の安定品質は、確かな振興方針と栽培計画により確保されています。

平成25年度 福井米振興方針 おいしく、環境にやさしい福井米づくり

●重点推進事項

コシヒカリの食味ランキング「特A」評価定着のための技術指導の推進

- ①倉前・CE出荷米など全JA出荷農家の食味検査の実施
- ②高タンパク米生産者へきめ細かな技術指導の徹底
- ③基準に基づいた区分集荷・販売の実施
- ④消費者が選ぶ「福井米」レベルアップコンテストの開催

県下全域でエコファーマーを推進

エコファーマー栽培技術の実践と安定した収量確保

- ◎土づくり技術：稲わらや緑肥作物等の鋤き込み
- ◎減農薬技術：畦畔の機械除草等による減農薬栽培
- ◎減化学肥料技術：有機入り肥料への切替え

5月半ばの適期田植えと直播栽培の徹底

- ①5月半ばの適期田植えと適正施肥の徹底
- ②5月半ばの適期田植えと同等の高温登熟回避技術として直播栽培を推進

土づくりと適切な水管理の徹底

- ①有機入り肥料と合わせた土づくり資材の施用による食味向上
- ②深耕による根域拡大と土づくり資材散布機、深耕機械等の導入推進
- ③土壤診断や土壤マップに基づいた土づくり資材や肥料の効率的施用
- ④幼穂形成期以降の間断通水と収穫直前までの水管理の徹底

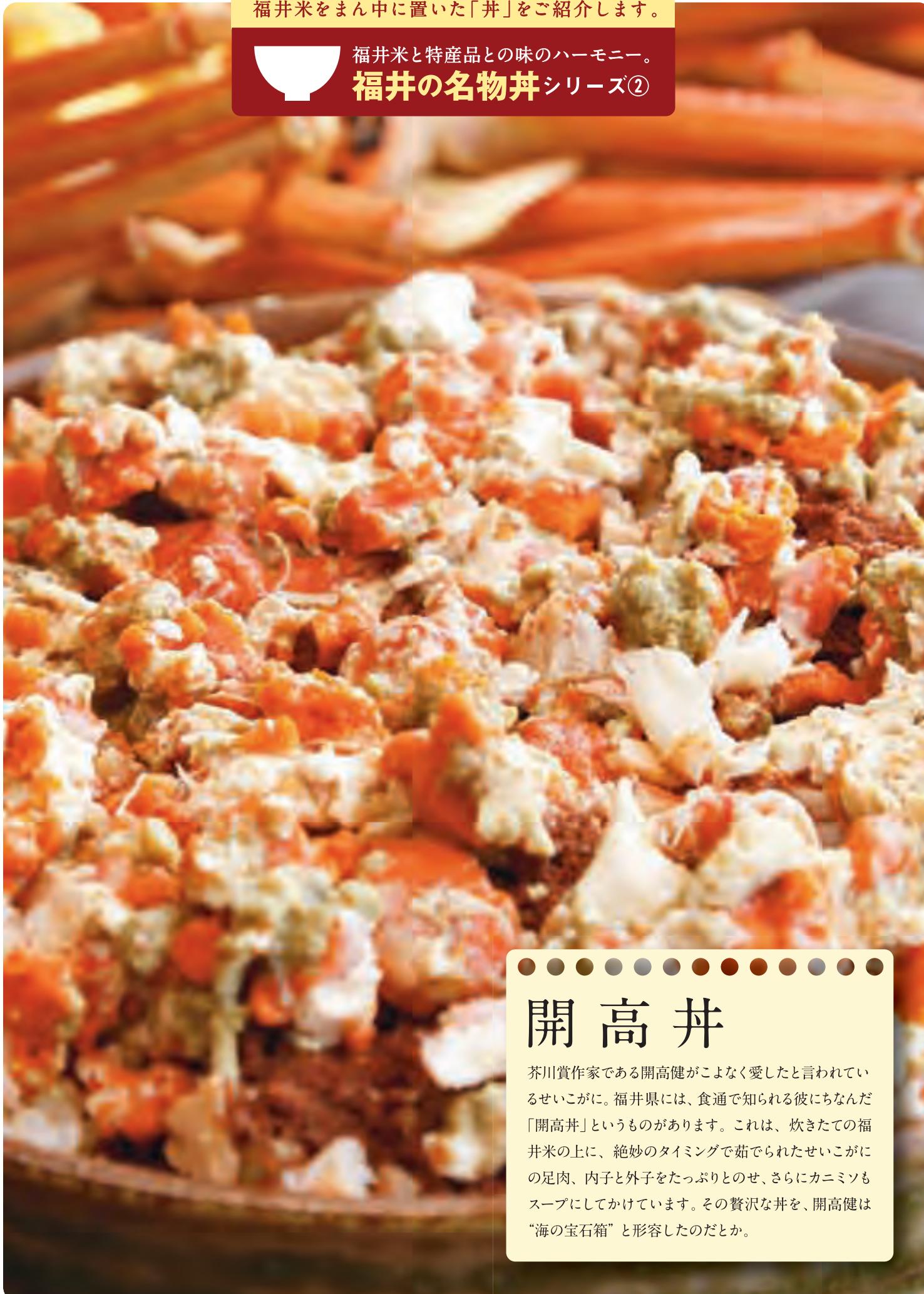
適正作付比率の推進

大規模経営体を中心に多収性あきさかりの作付推進

●目標とする福井米の姿（目標年 平成25年）

- ①食味評価：コシヒカリの食味ランキング「特A」評価
- ②米のタンパク質：コシヒカリ区分集荷基準値：6.7%以下
- ③食味値：コシヒカリ：80以上
- ④1等比率：90%以上
- ⑤整粒歩合：80%以上
- ⑥粒厚：1.9mm以上
- ⑦水分：14.5~15.0%
- ⑧種子更新率：100%
- ⑨生産履歴の記帳：100%
- ⑩生産者：全JA出荷農家のエコファーマー栽培技術導入





開高丼

芥川賞作家である開高健がこよなく愛したと言われているせいこがに。福井県には、食通で知られる彼にちなんだ「開高丼」というものがあります。これは、炊きたての福井米の上に、絶妙のタイミングで茹でられたせいこがにの足肉、内子と外子をたっぷりとのせ、さらにカニミソもスープにしてかけています。その贅沢な丼を、開高健は“海の宝石箱”と形容したのだとか。

福井米をもつともつと味わうために、
福井米をまん中に置いた「丼」をご紹介します。



福井米と特産品との味のハーモニー。
福井の名物丼シリーズ②

コシヒカリのふるさと福井が贈る、おいしいラインナップ。

福井県産ハナエチゼンは
日本穀物検定協会の平成24年産
食味ランクイン[※]において
特A
と評価されました。

【ハナエチゼン】

北陸で最も早く収穫される「ハナエチゼン」
新米のトップバッターとして市場へ。

外観 ▶ 色が白く、粒ぞろいが良い。

味 ▶ 香りが良く、旨味に富み、
光沢のある白さが魅力的なお米。

粘り ▶ ほどよい粘り。

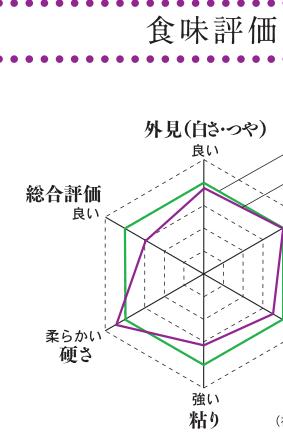


特徴

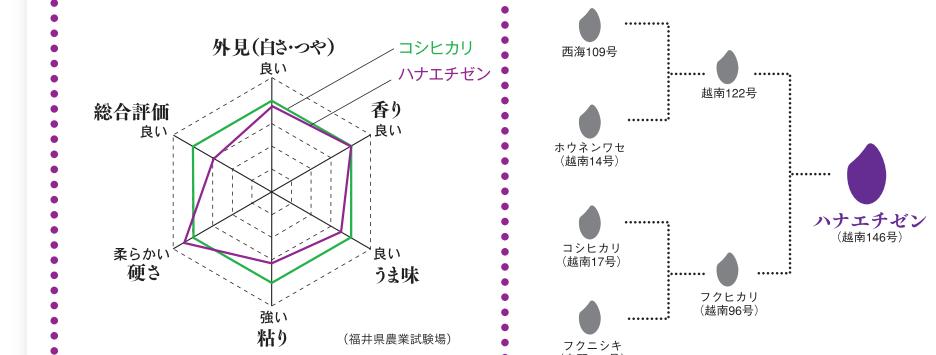


北陸地方で一番早く実り収穫・出荷されます。
コシヒカリと同様、福井県の恵まれた自然環境下で
栽培されているので、高品質で食味値も高く
粘りと旨みに富み、色の白さと粒ぞろいの良さが自慢の
美人米です。例年8月中旬には全国に出荷されます。

食味評価



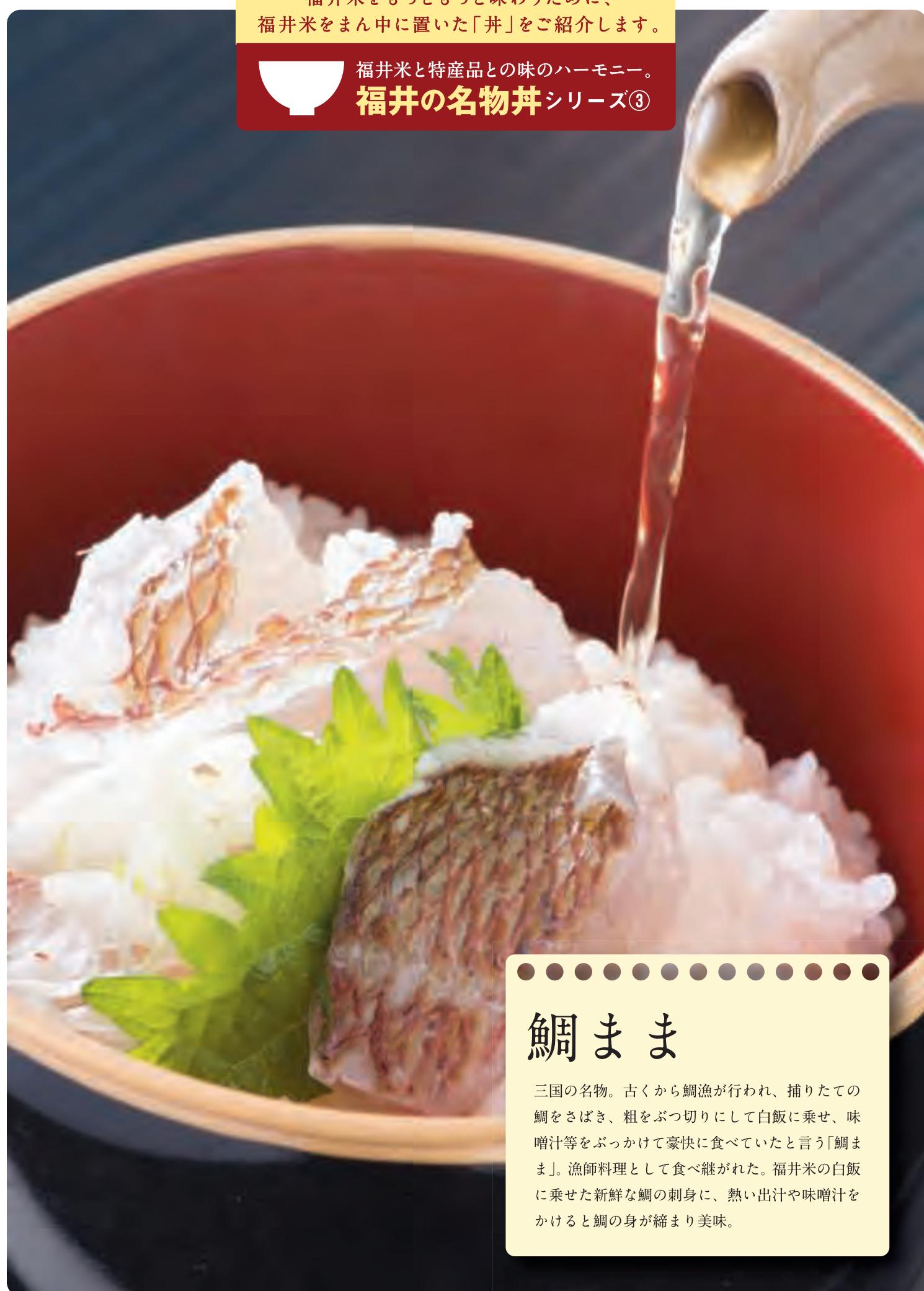
系統図



トピックス

「おこめまつり2012」にハナエチゼン出展

日本人の食文化の中心であるお米の価値を再発見するためのイベント「おこめまつり2012」(主催:ふるさとの「食」応援プロジェクト実行委員会)が、横浜赤レンガ倉庫 特設会場にて開催されました。出展された銘柄は全国各地の米処からブランド米12銘柄を厳選。福井からはコシヒカリとハナエチゼン等3銘柄が出展され、福井米のおいしさが来場者に再認識されました。



福井米をもっともっと味わうために、
福井米をまん中に置いた「丼」をご紹介します。

福井米と特産品との味のハーモニー。
福井の名物丼シリーズ③

コシヒカリのふるさと福井が贈る、おいしいラインナップ。

【あきさかり】



極良食味で味にクセがなく誰にでも好まれ、
コシヒカリの後継米として人気急上昇中。

外観 ▶ 粒が大きく崩れにくい。

味 ▶ 炊き上がりが白く、
極良食味で、甘みがある。

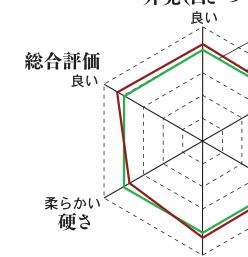
粘り ▶ 粘りが強く、弾力がある。

特徴

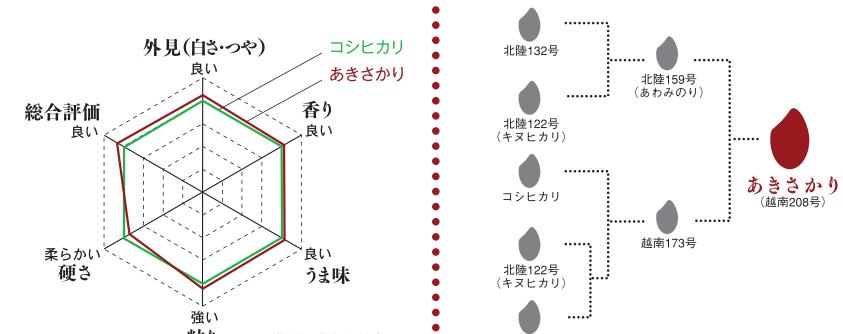


コシヒカリよりも収穫時期が1週間から10日程度遅く、
短稈で倒伏しにくく、高温でも品質低下の少ない品種。
精米白度が高く極良食味でクセのない食味が
誰にでも好れます。また、冷めてもねばりがあり、
表面に光沢が残っています。

食味評価



系統図



「あきさかり」の作付が伸びています。

福井県農業試験場が平成9年に交配し、本格デビューや4年目を迎える「あきさかり」。高温でも見栄えが良く、おいしいコメと評判で、短稈で耐倒伏性が大きく、多収であるということで生産者の期待も大きく、近年作付が伸びています。

■福井米 作付推移データ

	コシヒカリ	ハナエチゼン	あきさかり	イクヒカリ-その他の品種
平成25年産	55%	25%	10%	10%
平成24年産	59%	25%	6%	10%
平成23年産	59%	25%	4%	12%
平成22年産	57%	28%	1%	14%

※平成25年産の比率は目標値

トピックス



「福井が誇る特産品を、手軽に美味しく味わう」をコンセプトに、JA福井県経済連の職員が開発したグルメシリーズです。福井米と一緒に、ぜひ味わって下さい。



全県の産地が栽培技術を徹底し、安定した品質に努めています。

五月半ばの適期田植えと直播栽培の徹底

コシヒカリの高温登熱の回避による食味・品質向上を図るために、5月半ばの適期田植えと直播栽培を徹底し、完全実施を目指します。現在、5月半ばの適期田植えと直播栽培の推進をあわせた面積は、98%に至っています。今後、100%完全実施を目指して指導を重ねることで、福井米の持つ本来のおいしさを引き出していくます。

コシヒカリの品質と気温

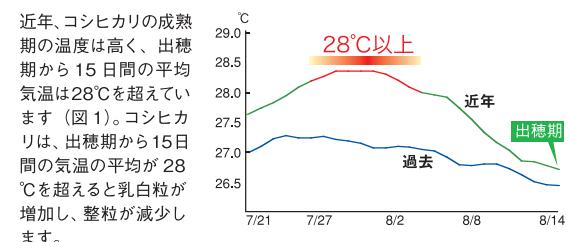


図1 「出穂期から15日間の平均気温の違い」

コシヒカリは出穂を遅らせる

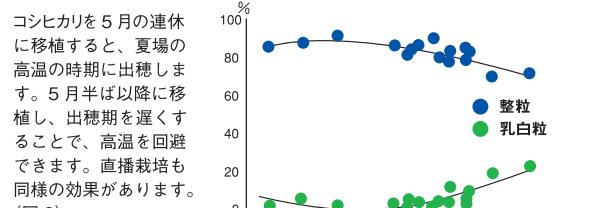


図2 「出穂期から15日間の平均気温と完全粒・乳白粒の割合」
(福井県農業試験場)

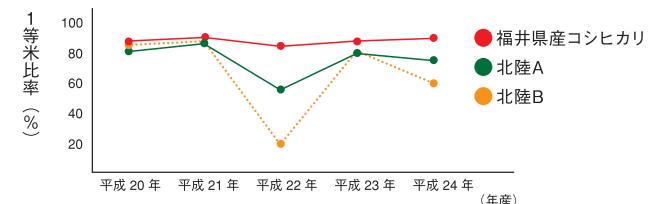
コシヒカリ「5月半ばの適期田植え」の実施状況

	5月上旬田植え	適期田植え	移植	直播
平成25年	2% (-1)	98% (+1)	86% (+2)	12% (-1)
平成24年	3% (-1)	97% (+1)	84% (+1)	13% (-1)
平成23年	4% (-10)	96% (+10)	82% (+11)	14% (-1)

25年産
コシヒカリ適期田植え
実施率
(農林総合事務所)

98%

コシヒカリ「5月半ばの適期田植え」の成果



平成22年や24年など、夏期の高温により
全国的に品質が低下した年でも、
福井県産コシヒカリは、高い1等比率を維持でき、
猛暑による高温障害の影響も少なく
3年連続で北陸4県のトップの比率です。

県下全域でエコファーマーを推進

より安心で安全な福井米のレベルアップのために、県下全域でエコファーマーを推進しています。

平成25年産米から、全JA出荷農家でエコファーマー栽培技術を導入。

平成26年度までに全稲作農家のエコファーマー化を推進。

土づくり技術、減農薬技術、減化学肥料技術の3つの技術を実践し、安心・安全な福井米を追求します。

①有機物等を利用した土づくり

稲わらなどを燃やさず、トラクターで鋤き込む。

②農薬の使用成分数を地域の慣行栽培より2割以上減らす

畦畔除草は除草剤を使わず草刈機で行う。

成分数が少ない農薬(本田除草剤など)を使用する。

③化学性窒素成分量を地域の慣行栽培より2割以上減らした有機質入り肥料で栽培

エコファーマー対応肥料を使用し、化学性窒素成分量を2割減らす。

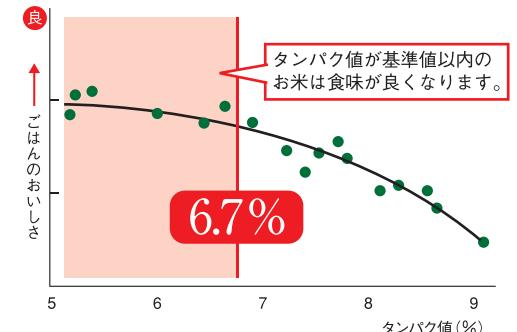
エコファーマー認定数 2012年度末で24,974件で、全国1位。



コシヒカリとハナエチゼンが
食味ランクイング最高位の「特A」を
獲得しました。さらにその品質を高めるため、
独自の厳しい仕分集荷を徹底しています。

タンパク値による区分集荷の実施

福井米の品質向上とコシヒカリ特A評価を維持するため、タンパク値による区分集荷を実施します。タンパク含量が高いと食味は低下することから特にコシヒカリにおいては、タンパク値6.7%以下で区分し、おいしいお米を消費者に届けます。



おいしいお米を生産するため下記の栽培方法を実践しています。

生育に応じた適正な施肥量

ケイ酸質資材等を用いた土づくり

初期の水管理、登熟期の間断通水を徹底



1.9ミリ網目選別

より大粒で高品質なお米をお届けすることを目指して実施。1.9ミリ網目選別で、コシヒカリのねばり、味わい、口あたりはさらに良くなりました。日本はもとより、世界を視野に入れた粒ぞろいの福井米をぜひ味わってください。



1.9ミリ網目選別使用と1.85ミリ網目選別との食味に関する比較調査 (JA福井県経済連調べ)

タンパク質含有量	食味値	整粒
1.85ミリ	6.6	1.85ミリ
1.9ミリ	6.2	1.9ミリ

一般的に、タンパク質含有量が少ないほど食味値は数字が高くなるほどお米の持つ旨味が増して、おいしく感じられると言われています。

粒揃いが良いほど整粒歩合が高く、炊きあがりが美しく美味しいと言われています。

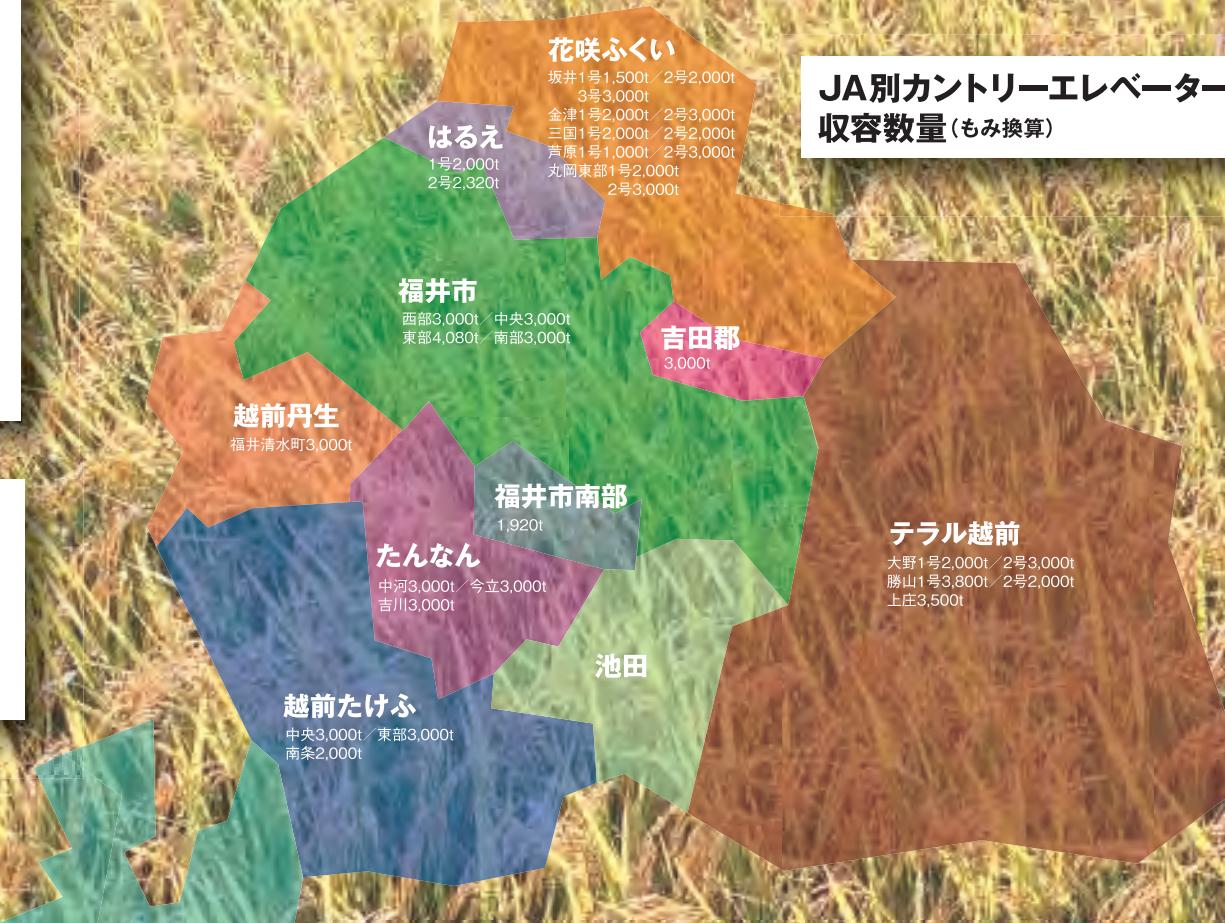
日本屈指のカントリーエレベーター数を設置。

日本屈指の数を誇る39施設において、もみ換算で約96,420tの収容能力を保持。

新米とほとんど変わらない品質の保持や、栄養分の損失防止、脂質酸化の抑制、微生物の繁殖や害虫発生の防止などを実施。常に品質の高い貯蔵米、今擦り米をお届けします。



JA別カントリーエレベーター 収容数量(もみ換算)



集荷計画 (25年産は出荷契約数量、24年産は最終集荷見込。加工用米、過剰米は除く)

	うるち米								酒米	もち米	合計	
	ハナエチゼン	コシヒカリ	イクヒカリ	キヌヒカリ	ひとめぼれ	日本晴	あさかわ	その他				
25年産	23,452	41,168	1,637	205	140	105	9,149	297	76,153	2,873	1,189	80,215
24年産	23,739	40,138	2,362	242	148	306	7,670	249	74,854	2,842	1,468	79,164
23年産	23,465	39,262	4,551	310	141	298	4,605	102	72,734	3,664	1,315	77,713

